

職員が共力し

磐女誇りの新設備 縣下唯一の染色洗濯室

磐女は永年の囑望であつた染色兼洗濯室を此程設置したが同室は總坪數三十二坪で同校土岐教諭設計監督の下に二ヶ年計劃に依り寄宿舎の浴場及び洗面所を改造着工したもので職人の手を借りず一切の工事を學校職員が大工になつたり左官になつて力を合せてやつてのけただけにバザーの利益金を投じた總費用が僅かに五百圓、然もボーテント式水揚ポンプを始め百立方のタンク二十四ヶ所の洗濯所及び八ヶ所の染色臺を備へ付けてあり一見恰も大工場の觀を呈し過般出張した縣の近藤技師も絶讚の聲を放つた由で縣下女學校中唯一の設備である爲め先般の縣下女學校長會の際にも參觀した校長達の羨望の的になつてその精巧な施設に舌を巻かした

恰も大工場の觀

額の工費がかかるので新設出来ないのです、幸ひ當校はバザーの利益があつたので夫れを投げる事となり土岐君や内村さんが自ら先頭となり他の職員の人々と共に努力したので費用も案外安く済みました、將來は生花や理科の實驗室にも當てる豫定で居ります」

片濱有望に

力を得た町村長

大舉出福知事に陳情

(既報)平小鐵道敷設路線に就いては過般平町から青沼町長外同路線陳情委員が上京して要路に陳情して歸平したが去る十三日の議會請願委員會に於て右陳情が採譯された旨通報があつたので愈々片濱廻り路線が有望視されるに至つたが是れに力を得て片濱通りの豊間江名、高久、夏井の各關係町村では明十六日委員が大舉出福知事に陳情することになつた

理科實驗

正木校長語る

「何處でも欲しがつてゐる設備なのだが何分にも」

十年完納

飯野で表彰

飯野村納稅組合表彰式は本十五日午後一時から同村小

第一 北白土第一 谷川 瀨相互 吉野作 同共益 (十年度完納)上荒川 吉野谷 上高久 南白土 谷川瀨

—— 榮養料理 —— 平町材 實驗講習 木町平

信榮幼稚園は明十六日午前十時半から大阪市榮養研究所講師飯田富士氏を招き榮養の講習會並に實習を行ふ事になつたが會費は僅か二十錢で諸種の炊事法や調理法を傳授する由

平漁市場總會 平町

平漁市場臨時株主總會は二十八日午前十時から大工町魚市場内に開き左記事項を協議する

一、取締役、監査役任期滿了に付改選の件 一、業務報告の件

矢野校長上京 平商

矢野校長は今十五日より四日間東京商大講堂に開かれる全國商業學校長會に出席の爲め今朝平發五時十五分で上京した

鯉漁を前にして

磐城丸出帆不能

機關部の故障から

修理に四五千圓を要する

既報十二日講習生を乗せて鯉漁に出帆する豫定だつた本縣指導船磐城丸は機關部の故障から出帆不能に陥り試験場船手技手は修理打合せのため昨日出帆した

磐女の体育會 磐女

三年(庭球)四年(排池)のクラス對抗校内大會は今十五

日午後二時から同校グラウンドで催された
學校公開教授 郡下
農村に於ける各小學校は來

北海行の漁船が

漁場目がけて出帆

郡内各濱漁業家の夏季カムチャツカ行遠洋漁業は小名濱水試場長等の斡旋で近年非常に増加して來たが本年も相當の數に上る見込で各濱共漁業組合が種々便宜を講じつゝあるが四倉町新町鈴木幸平氏所有船四十八社九(一九噸)、渡邊辰吉氏所有船渡邊丸(二五噸)の兩船は夫々十三名宛乗込みこの程本年度石城地方夏季遠洋漁業の先驅として同港出帆二十日迄には漁場に到着して約四ヶ月間、鮭、鱈漁業に従事する豫定である

高橋竣功豫定 大浦
村地内仁井田川の高橋架替工事の木橋はこの程着工、從來の木橋からモダンな鐵骨コンクリートにするが延長五十米、幅員八米で十月竣功の豫定

平町人事

回出生

△三町目一七當時東京市浦田區萩中町一八鈴木金二氏二男城目さん
△三町目一當時宮城縣宮城郡廣瀬村大字葛岡下一〇齊藤俊二郎氏三女俊子さん

月早々農繁休業に入る爲め平町各小學校を視察に來る職員が増すので第一は十六日、第二は十七日、第三は十八日各公開授業を行ふ由

看護婦急派

求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七

中野齒科醫院

院長 日本齒科 中野 惠次
日本齒科 醫學士 西川 誠
平町田町(松月堂向ヒ) 電話五〇九番

一 齒科 一般
一 工科 齒列矯正科
一 小兒齒科 齒槽膿漏科
一 口腔外科 一 レントゲン科
保存科補綴科 繼續架
小兒齒科 齒槽膿漏科

外科 一般
内臟外科
花柳病科
肛門病科
レントゲン科
物理療法科

北川外科

醫學博士 北川 芳夫
醫學士 奧 義弘
技師 小林 良次

電話増設

電話二三二番

(支店長宅 接)

株式會社 七十七銀行平支店
電話四一四番

炭坑漁濱を控へ

嚴重な空の護り

一朝有事の場合を豫想し

實戦同様な秋の防空演習

(既報) 今秋九月縣下一圓に亘つて重要都市を中心に行はれる防空演習は目下第二師團で計畫中であるが十三日縣廳に第一回打合せを開き門脇第二師團參謀から計畫大要の説明あり

今後數次の會合で追々具体化する筈であるが本演習に際して平町を中心とする石城地方は炭礦並に小名濱商港を控へて一朝有事の場合に重要な土地柄である爲

郡内各町村を始め各團體炭礦、工場等が緊密な聯絡を保ち、哨戒、防火、防毒、避難等の操作を行ふ筈で尙在郷軍人、消防組員、青年團、警官、町村吏員を以つて

防護團を組織し燈火管制の指揮、防火、防毒その他一切の防空に關する訓練を行つて實戦同様の水も漏らさぬ防空陣を張ることになつた

防護團を組織し燈火管制の指揮、防火、防毒その他一切の防空に關する訓練を行つて實戦同様の水も漏らさぬ防空陣を張ることになつた

満開は

日曜頃か

當分躑躅に賑ふ

平町松ヶ岡公園の躑躅は既に開花を急ぎ毎日散策の人の賑つてゐるが夜の景觀を添える雪洞も愈々十四日夜より一齊に點燈され千紫万紅の樹間に更に光彩を添へて居り満開は十七日の日曜頃になるべく當分晝夜を別たぬ人出は續くと見られる

不拂逃走

商店泣かせ

明日の公判

安達郡和木澤村生れ目下住居不定前科二犯無職中野春壽(三)が去る九年十月勿來町大字出倉吳服商大泉重松氏方に於て十餘圓の品物の代金を支拂はず其儘逃走其後内郷、湯本等に於て同手

バス娘が増加し

看護婦志願減る

男兒は専ら重工業へ

新職希望の傾向

平職業紹介所が現在まで幹旋した今春小學校卒業兒童は男兒六十名、女兒三十名の計九十名で昨年と比較して十名を突破する好成績であるが軍需インフレが影響して男兒の職場は重工業方面が斷然大部分を占め、女兒は紡績女工、電話交換手

平職業紹介所が現在まで幹旋した今春小學校卒業兒童は男兒六十名、女兒三十名の計九十名で昨年と比較して十名を突破する好成績であるが軍需インフレが影響して男兒の職場は重工業方面が斷然大部分を占め、女兒は紡績女工、電話交換手

兄戀しの一念に

涙ながらに平署へ出願

十五日午前十時頃平署へ寄る年波に十四年前生別した肉身の兄戀しと捜査方願ひ出た男があり署員が事情を聴くと、同人は川前村大字下桶賣字五味澤農永山智(五)さんで同人の兄(五)さんが十四年前平地方に出隊したまゝ音信更になく既

に死亡したものとあきらめてゐたが最近湯本が勿來方面の鐵道關係の仕事に従事してゐることを風の便りで耳にしたので兄戀しの氣持からてくてく徒歩で來て願ひ出たものと判明、同情した署員に探してやると云はれて安心して歸つた

明日のラジオ
十六日

今晩の部

- 後六、〇〇(子供の時間)
- 「忠子のいたづら日記」チウチウ座(桃谷中繼)
- 後七、三〇(青年の夕「産業と發明の體験を語る」坂井田藤一他)
- 後八、一〇(労働民話 権藤圓立)

湯澤天真他

- 後八、五〇(管絃樂 日響)
- クロイツァー
- 後九、五五(日本棋院春季大手合戦績)
- 後九、三〇(時報 ニュース)
- 明日の話題 氣象通報
- 番組豫告

明日の部

- 後八、三〇(洞蕭と詩吟)
- 湯澤天真他
- 後八、五〇(管絃樂 日響)
- クロイツァー
- 後九、五五(日本棋院春季大手合戦績)
- 後九、三〇(時報 ニュース)
- 明日の話題 氣象通報
- 番組豫告

今晩は南東の風
曇り明日は北の風
風曇一時晴

前六、三〇(基をフリス語講座 丸山順太郎)

- 前七、〇〇(一朝の修養「參同契」加藤咄堂)
- 前八、一〇(對米國放送訪日米國從軍老兵會代表講演と音楽)
- 前九、〇〇(衛生メモ)
- 前九、三〇(家庭講座「青兒十二ヶ月」小山武夫)
- 後〇、〇〇(五連續講談「龍釣瓶」神田伯龍)
- 後二、〇〇(母の時間「肢體の不自由なる子供の取扱ひについて」高木憲次)
- 後四、二〇(夏場所大相撲兩國國技館中繼)

後六、〇〇(童話と唱歌 岩手縣釜石及花巻小學校)

- 後六、二五(講演「日本佛敎の特色」清水谷恭順誠)
- 後七、三〇(子供と家庭の夕 和洋合奏 若葉和洋合奏團)
- 後七、五〇(物語「杜子春」山野一郎)
- 後八、二〇(木琴獨奏 朝吹英一)
- 後八、三〇(童話劇「ハックルベリーの冒險」創作座童話劇部)
- 後九、〇〇(時事解説「最近ノ支那の情勢」小室忍)

後六、〇〇(童話と唱歌 岩手縣釜石及花巻小學校)

- 後六、二五(講演「日本佛敎の特色」清水谷恭順誠)
- 後七、三〇(子供と家庭の夕 和洋合奏 若葉和洋合奏團)
- 後七、五〇(物語「杜子春」山野一郎)
- 後八、二〇(木琴獨奏 朝吹英一)
- 後八、三〇(童話劇「ハックルベリーの冒險」創作座童話劇部)
- 後九、〇〇(時事解説「最近ノ支那の情勢」小室忍)

素人歓迎

將棋大會

平町將棋同好者よりなる互樂會主催の第三回濱三郡素人將棋大會は来る十七日午前十時より平町五丁目吉田屋樓上に開催されることになつたが今回は全くの素人を歓迎し入賞一等から十等迄で會費は晝食付七十錢である

自慢の目白

白蹄合

白蹄合 白蹄合會は十七日午前九時から同町警城訓盲院に蹄合競技會を開くが出席者は五十餘名に上る見込み

辰巳丸沈没

乗組員は助る

小名濱町鈴木房吉氏所有發動機船辰巳丸(二九噸)は南千島國後島留夜別村海岸に出漁中だったが去三日午前八時頃同所よりカムチャツカに向けて航行中時化の爲難波し、乗組員は全部附近航行中の漁船に救助された

老衷の親

伴の搜索願

西白河郡白河町平吉長男小湊武久(三)は八年前當時四才の幼兒を老父母の手許に置き去りにして家出したが最近平吉夫妻が老衰と疾病のため生計困難になつたため武久は平附近に居らしとの風説を便りに十五日平署へ捜査方願ひ出た

裁判所たより

△湯本町字笠井二四自動車運轉手大田原正(三)は去る一月九日乗合自動車を運轉疾走中自轉車に乗つて居た緑川清君に衝突全治二週間を要する頭部擦過傷を與へ業務上過失傷害罪として今十五日平區野木判事から略式罰金二十圓に處された

△山形縣最上郡生れ目下住居不定日雇前科一犯安食恒雄(三)が昨年未から去る四月月上旬迄の間前後九回に亘り平町警炭發電所工事場に

平職業紹介所報告

求人を求める方

- ▽撤水夫 廿二才 給料七、十圓
- △粕入夫 二〇才 卅五才 給料十、十四圓
- △農夫 四十才迄 給料十五圓
- △粕入夫 卅才迄 給料十二圓
- △精米夫 廿五才迄給六圓
- △探炭夫 四十才迄 日給一圓
- ▽職を求める方
- △事務員 十九才 中卒
- △トラック助手 廿四才 高卒
- △土工夫 卅一才
- △鐵工 廿二才 高卒

